

水産海洋地域研究集会

第7回 日本海研究集会
—日本海北部のズワイガニ資源を考える—

日 時：2017年11月28日(火) 13:00—16:35
場 所：新潟市万代市民会館 多目的ホール (新潟市中央区東万代町9-1)
共 催：一般社団法人水産海洋学会, 国立研究開発法人水産研究・教育機構日本海区水産研究所,
新潟県水産海洋研究所
コンピーナー：上田祐司, 上原伸二 (水産機構日水研), 河村智志 (新潟水海研)

開会挨拶：大関芳沖 (一般社団法人水産海洋学会 会長) 13:00—13:10
藤田利昭 (新潟県水産海洋研究所 所長)

趣旨説明：上田祐司 (水産機構日水研) 13:10—13:20

話 題

座 長：河村智志 (新潟水海研)

1. 日本海のズワイガニ資源について 13:20—13:45
上田祐司 (水産機構日水研)
2. 日本海西部におけるズワイガニ漁業の現状と課題 13:45—14:10
筆谷拓郎 (全底連)
3. 日本海北部におけるズワイガニ漁業の現状と課題 14:10—14:35
須藤洋介 (新潟水海研)・板本健児 (山形水試)・甲本亮太 (秋田水振セ)

—休憩— 14:35—14:45

座 長：上原伸二 (水産機構日水研)

4. 鳥取県の市場におけるズワイガニの仕分けと単価 14:45—15:10
太田武行 (鳥取水試)
5. 新潟県におけるズワイガニの単価向上に向けた取組 15:10—15:35
海老名秀 (新潟水海研)
6. 日本海北部におけるベニズワイガニ漁業と観光資源としての活用 15:35—16:00
養松郁子 (水産機構日水研)

総合討論 16:00—16:30

座 長：上田祐司, 上原伸二 (水産機構日水研), 河村智志 (新潟水海研)

閉会挨拶：本多 仁 (水産機構日本海区水産研究所 所長) 16:30—16:35

開催趣旨

ズワイガニは日本海を代表する水産資源である。日本海西部で漁獲されるズワイガニは各地域でブランドが確立していることに加え、漁獲に関する自主規制も多く、資源の持続的な利用と経済的価値向上のための様々な取り組みが行われている。一方、日本海北部におけるズワイガニの漁獲量は日本海西部の10分の1程度であり、底魚漁業における本種の位置づけは高くなかった。しかし、近年我が国全体でズワイガニの単価が上昇していることや、日本海西部に比べて漁期が長いことなどから、日本海北部においても資源を有効利用する機運が高まっている。そこで、本研究集会では、日本海全体のズワイガニ資源の状況を概観した上で、地域経済における重要性が高い日本海西部における生産から消費までの取り組み事例を紹介するとともに、日本海北部における最近の取り組みを取り上げ、地域特産の水産資源による漁業の振興について議論する。